

「町田市高齢者福祉計画（中間答申）」

「第5期町田市介護保険事業計画（中間答申）」

パブリックコメント実施結果

町田市いきいき健康部

2012年1月

## 「町田市高齢者福祉計画(中間答申)」

## 「第5期町田市介護保険事業計画(中間答申)」

### パブリックコメント実施概要

市では、「町田市高齢者福祉計画」・「第5期町田市介護保険事業計画」の策定にあたり、市民の皆さんのご意見を募集しました。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。いただいたご意見は、本計画の策定及び今後の市政の参考にさせていただきます。

#### 1. 募集期間

2011年10月11日(火)～11月11日(金)、市民説明会11月23日(水・祝)

#### 2. 意見募集の方法

町田市ホームページへの資料掲載の他、以下の施設で資料の閲覧・配布を行いました。

高齢者福祉課(町田市役所2階)、介護保険課(健康福祉会館分館)、健康福祉会館、市民相談室(町田市役所1階)、市政情報やまびこ(中町分庁舎1階)、市民協働推進課(町田市民フォーラム3階)、各市民センター、玉川学園文化センター、木曽山崎センター、各市立図書館、町田市民文学館

#### 3. 寄せられたご意見の件数・内訳

意見総数 …93件

電子メール、郵送、市民説明会アンケート等により、両計画合わせて93件のご意見をいただきました。ご意見の項目別の内訳は次のとおりです(複数の内容に関わるご意見は、内容ごとに分けて集計しています)。

ご意見の概要とそれに対する市の考え方は、P.3以降をご覧ください。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

【意見件数内訳】

町田市高齢者福祉計画(中間答申)		計74件
意見内容		内容別意見件数
計画の基本理念と基本目標について		3
市民ニーズ調査について		1
1 地域参加と生きがいづくりの推進	(1) 高齢者の生きがい・集う場づくり	6
	(2) 健康づくり・介護予防の推進	3
	(3) 地域の担い手づくり	2
2 住み慣れた地域での生活継続の推進	(1) 見守り支援ネットワークの推進	5
	(2) 要援護高齢者支援	2
	(3) 生活支援サービスの実施	1
	(4) 高齢者支援センターの機能の充実	9
	(5) 認知症高齢者及び家族介護者支援	2
	(6) 高齢者の権利擁護	1
3 自分に合った施設や住まいの選択	(1) 高齢者の住まいの選択肢拡大	3
	(2) 地域に密着した介護保険サービスの提供	1
	(3) 介護保険施設の整備	8
4 安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	(1) 介護保険サービスの質の向上	
	(2) 介護人材の育成・確保	2
	(3) 保健・福祉・医療の連携	2
パブリックコメントについて		1
市民説明会について		1
計画全体について		8
その他		13
第5期町田市介護保険事業計画(中間答申)		計19件
意見内容		内容別意見件数
1 いきいきと安心して地域で暮らすために	(1) 健康づくり・介護予防の推進	
	(2) 高齢者支援センターの機能の充実	
	(3) 認知症高齢者支援及び家族介護者支援	
	(その他) 基本施策について	1
2 自分に合った施設や住まいを選択できるようにするために	(1) 高齢者の住まいの選択肢拡大	1
	(2) 地域に密着した介護保険サービスの提供	
	(3) 介護保険施設の整備	
3 よりよい介護保険サービスを提供するために	(1) 介護保険サービスの質の向上	
	(2) 介護人材の育成・確保	
	(3) 介護給付・運営の適正化	6
	(4) 保健・福祉・医療の連携	1
介護保険制度によるサービスについて		10

「町田市高齢者福祉計画(中間答申)」 「第5期町田市介護保険事業計画(中間答申)」

ご意見の概要と市の考え方

1. 「町田市高齢者福祉計画」へのご意見 (74件)

○ 計画の基本理念と基本目標について (3件)

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	計画の実現のためには、自助努力と共助の精神により、本人や地域・周辺の人々が計画づくりに参加し、行政と「一緒になって」みんなで努力することが必要である。計画書にもそのような表現をしてほしい。	「自助・共助・公助」の仕組みや自助の促進について明確になるよう、計画書の表現を工夫していきます。
2	「公助」が大前提で、次に「共助」があり、形として「自助」、になっているように見える。この順序ではお金(税金)は際限なく増大し、自立した市民は増えない。真の「自助」・「共助」・「公助」の仕組みが必要。「自助」の行動を喚起し、又それを実施している人に報いる施策が必要。	
3	地域包括ケアシステムの話が聞けなかったのが残念。	第1章及び第3章にて記載をしております。

○ 市民ニーズ調査について (1件)

No.	ご意見の概要	市の考え方
4	市民ニーズ調査の“高齢者の家族構成から”で、ひとり・二人・日中独居を並べて書くのはなぜか(母数が違うはず)。	ご意見につきましては、参考にさせていただきます、計画書を修正いたします。

○ 高齢者の生きがい・集う場づくりについて（6件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
5	集合住宅の集会室を利用して、交流の場所として活用してほしい。	基本目標1（1）「高齢者の生きがい・集う場づくり」の中で取り組んでいきます。
6	各地域にある町内会等の集会所を有効活用し、例えばボランティアの協力を得ながらミニ喫茶店をオープンし、閉じこもりがちな高齢者の交流の場とすることができれば良い。	町田市社会福祉協議会では、市内の集会所などを使って、各地域に仲間づくりやおしゃべりを目的とした「ふれあいサロン」を設置していく事業を行っています。市としても今後、町内会・自治会等との連携を取りながら、活用方法を検討していきます。
7	住宅地で使われていない駐車場を“日なたぼっこの場”として活用できたら良いと思う。お茶を飲んだり、食べたり、フリーマーケット等。	今後の市政に対するご意見として、参考にさせていただきます。
8	100世帯余りの自治会にいるが、そこには老人クラブがない。	現在、町田市の老人クラブ数は113クラブあります。老人クラブは町内会・自治会単位で設立されていない場合もあるため、その場合は近隣の老人クラブに入会していただくこととなります。なお、概ね60歳以上の方が30人以上集まれば、新たに老人クラブを設立することができます。
9	中規模会館を老人会で使う場合、使用料が年間10万円と高く、冷暖房費もかかる。安く施設を利用できるようにしてほしい。また、施設の会計報告も見っていない。昔はお葬式もやっていたらしいが、そういった部分も市でも検討いただければ、健康づくりがもっとできると思う。	今後の市政に対するご意見として、参考にさせていただきます。
10	地域に集う場としての公民館がない。各自治会に1つつくって欲しい。	今後の市政に対するご意見として、参考にさせていただきます。

○ 健康づくり・介護予防の推進について（3件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
11	町田市の「成人健康診査」の「基本チェックリスト(生活機能評価)」で、運動能力の評価をする必要がある。簡単な検査機器もあるので採用してほしい。 運動するための環境作り、正しい運動の仕組み作りなど、行政と市民が協力して、運動によって、80%の健常者を介護認定者にならないようにすることが必要。	基本チェックリストは国の指定項目となっていますが、介護予防には運動器の機能維持・向上が大切なため、ご意見を参考に健康づくりや介護予防事業を進めていきます。
12	要介護者にならないための対策が第一、そのPRを重要視してほしい。	高齢者の方にお元気で自立した生活を送っていただくためには、健康づくりや介護予防に対する取り組みが自主的かつ日常的に行われることが重要です。誰もが身近な地域で健康づくり・介護予防に取り組めるよう、参加しやすい事業の開催と町内会・自治会など地域でのPRに努めていきます。
13	介護予防が地域ぐるみで（小さな子や若い世代も一緒に）取り組めるようになったらよい。	

○ 地域の担い手づくりについて（2件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
14	高齢者支援センター事業の一環として、元気高齢者活動の仕組みや拠点づくりを計画的に行う。各高齢者支援センターを核とし、現民生委員、見守り協力員、町内会・自治会（福祉関係のメンバー）とそれらのOB等を構成員として立ち上げ、300～500世帯のモデル地区を2～3カ所つくる。	現在、高齢者支援センター事業を通じて、介護予防サポーター等により、元気高齢者の活動への支援を行っています。 ご意見につきましては、今後の高齢者福祉行政の参考とさせていただきます。
15	80%元気な老人がいるならば、65～70歳（団塊の世代）の人材活用を図るべきである。	基本目標1（3）「地域の担い手づくり」の中で取り組んでいきます。

○ 見守り支援ネットワークの推進について（5件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
16	<p>町田市にある全ての高齢者支援センターに「あんしん相談室」を設置するとの計画は素晴らしい。</p> <p>また、町内会・自治会を通じて、高齢者に地域の役割を周知させる仕組みを作り上げて行くという計画は、住民の事情に配慮したもので、基本理念と合致するものであり、大変素晴らしい。素案が着実にされることを期待する。</p>	<p>見守り支援ネットワークの推進については、高齢者支援センター、民生・児童委員、町内会・自治会、老人クラブ等の関係機関と協力しながら、「あんしん相談室」を設置し、着実に実施していきます。</p>
17	<p>自治会では、70歳以上の70数名の高齢者に、敬老祝金として現金1,000円を敬老の日に渡すだけである。</p>	<p>今後も、高齢者支援センター、民生・児童委員、町内会・自治会、老人クラブ等の関係機関と連携して、見守り支援ネットワークの実施地域を拡大していきます。</p>
18	<p>あんしん相談室を設けるようだが、内容やスタッフなど全く分からない。</p>	<p>基本目標2（1）「見守り支援ネットワークの推進」の中で記載しています。</p>
19	<p>老人クラブに見守りをさせることが現実的だと思うので、老人クラブに対して、補助金などを充実していただきたい。民生委員、支援センター、老人会、自治会など地域でのネットワークが必要であり、顔見知りになりましょうというやさしいネットワークをつくって、地域の中で一日でも長く暮らせるようになるとよい。</p>	<p>基本目標2（1）「見守り支援ネットワークの推進」の中で取り組んでいきます。</p>
20	<p>自分から他とのつきあいを求めない人が多いが、この点はどうか検討して欲しい。</p>	

○ 要援護高齢者支援について（2件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
21	介護保険事業計画の8ページで災害時の連絡網の構築とあるが、民生委員では災害時要援護者名簿はプライバシーの関係で民生委員でしか活用できない。すぐでなくてもよいので、民生委員や高齢者支援センター、自治会、町内会の会長などで共有していただきたい。	基本目標2（2）「要援護高齢者支援」の中で取り組んでいきます。
22	要援護者リスト等の情報を関係機関が共有し、適切に使用できるように。行政内部の意思の統一の下、統制された危機管理体制の構築を望みます。	

○ 生活支援サービスの実施について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
23	夜間の不安、通院の不安、買い物の不便などのニーズに対して、介護保険外サービスの新設も視野に入れて在宅サービスの充実を図ってほしい。	基本目標2（3）「生活支援サービスの実施」の中で取り組んでいきます。

○ 高齢者支援センターの機能の充実について（9件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
24	高齢者・介護の情報が、高齢者に届かない。情報伝達は本人との接触により初めて実現される。高齢者支援センター等により木目細かな実態調査とその対応、町内会・自治会とのより密接な情報交換が望まれる。相談窓口という待ちの姿勢でなく、積極的に地域へ出向いてほしい。	介護や見守り等に関する情報の普及啓発は高齢者支援センターの重要な役割として捉えています。今後、機能の強化を図り、より積極的に地域に出向くよう進めていきます。



No.	ご意見の概要	市の考え方
25	<p>「地域包括ケア」の充実を推進していくうえで、現行の支援センター業務（事業内容）の軽減が必要と考える。また、12の各支援センターをスーパーバイザー的にサポートする直轄の基幹型支援センター（市役所内部）を設置することが長期的な展望からも好ましいと考える。</p>	<p>高齢者支援センターの業務は、機能の充実という観点から効果を判断し、必要な事業を実施していきます。市直営の基幹型高齢者支援センターについては、機能強化の方法の一つとして、高齢者施策全体の中であり方を検討していきます。</p>
26	<p>健康診断後に紹介された高齢者支援センターからは、色々と支援をいただいている。</p>	<p>高齢者支援センターでは、介護予防を始め様々な分野の相談・支援を行っています。今後もきめ細かな支援ができるよう努めていきます。</p>
27	<p>高齢者支援センターは「町田市が描く高齢者のための未来予想図」に位置しているが、ここにおいて町田市（高齢者福祉課）のかかわりと位置づけはどこにあるのか。</p>	<p>市は、高齢者支援センターの運営を事業者に委託する立場として、地域包括支援センター運営協議会とともに、事業の方向性を決定し、支援していきます。</p>
28	<p>高齢者支援センターが15カ所から12カ所に減ったが、機能強化とはどのような方向性にあるのか、地域包括ケアに向けてどのように貢献していくのか。</p>	<p>基本目標2（4）「高齢者支援センターの機能の充実」の中で記載しています。</p>
29	<p>各地域にある町内会等の集会所を有効活用し、専門職（例えば高齢者支援センターの3職種）を配置することで、各種相談に応じられる体制を整えることが望ましい。</p>	<p>町内会・自治会等との連携を取りながら、高齢者支援センターが身近な相談窓口として機能できるよう検討をしていきます。</p>
30	<p>町田地区の高齢者支援センターが移転して、困っている。相談に行くのに、時間がかかりかかるということを聞いている。</p>	<p>高齢者支援センターは、15箇所から12箇所に再編し機能の充実を図るところです。ご相談等がある場合、ご希望により高齢者支援センターが訪問させていただきます。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
31	自治会では、地域の高齢者センターとの連携について、高齢者に関する問題提起など一度もない。高齢者支援センターとの接触もない。計画を立てても絵に描いた餅になっていると思う。現実に即した具体的な、市民が納得のいく説明等をお願いしたい。	高齢者支援センターでは、町内会・自治会へ役割の周知や地域との関係性を構築するための働きかけを行っており、すでに見守り活動などの連携が始まっています。
32	高齢者支援センターへの期待が大きく、非常に重要な拠点となると理解しているが、業務内容が多いため、地域への取り組みが充分できていないのではないかと。要支援のプラン作成との分離を考えていただきたい。	高齢者支援センターの業務は、機能の充実という観点から効果を判断し、必要な事業を実施していきます。

○ 認知症高齢者及び家族介護者支援について (2件)

No.	ご意見の概要	市の考え方
33	市民ニーズ調査結果で、介護が必要になった主な原因は認知症の割合が最も高くなっているが、認知症に対する重点事業は無いのか？	基本目標2(5)「認知症高齢者及び家族介護者支援」が重点施策となっており、その中で取り組んでいきます。
34	認知症支援推進員の設置について、仕事の内容、選定方法、人数等が知りたい。	認知症支援推進員は、認知症の方やその家族からの相談に応じて、適正な機関と連携を図るために設置します。また、各高齢者支援センターの職員の中から1名を支援推進員として育成していきます。ご指摘につきましては、計画書に記載いたします。

○ 高齢者の権利擁護について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
35	「市民後見人の活用」は p62 の①のA の下の欄に記載されるべき。	ご意見につきましては、高齢者福祉計画に反映させ、修正いたします。

○ 高齢者の住まいの選択肢拡大について（3件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
36	地域包括ケアのうち「住まい」について、国交省の「高齢期になっても住み続けることのできるバリアフリーの高齢者住まいの整備」として、高齢者専用賃貸住宅と生活支援拠点の一体的整備、持家のバリアフリー化の推進という概念があると思うが、これについての町田市での位置づけはあるのか？	基本目標3（1）「高齢者の住まいの選択肢拡大」にて記載し、市の取り組みの一つとして計画の中に位置づけています。
37	10月に法令の決まったサービス付高齢者住宅について、介護保険事業計画で触れないのは何故か。有料老人ホームと同様に介護保険を利用するところもあると思う。	サービス付高齢者住宅については、基本目標3（1）「高齢者の住まいの選択肢拡大」にて記載しております。
38	「サービス付賃貸住宅になぜ触れないのか」の質問の答えを伺いたかった。	

○ 地域に密着した介護保険サービスの提供について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
39	他市ではグループホームの家賃を生保の基準である約5万円で抑えるよう行政が指導しているケースがあります。町田市ではそのような考えはあるか。	認知症高齢者グループホームではそのような指導は行っていません。しかし、運営事業者を選定する際には、多くの市民が利用できるような家賃設定を求めています。

○ 介護保険施設の整備について（8件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
40	現状、高齢者施設の整備状況は、町田市の高齢者人口の3%に満たない状況であることも踏まえ、質も配慮に入れた基盤整備の実行を、町田市として着実にを行うことを期待する。	高齢者施設の整備にあたっては、高齢者人口に加え、要介護認定者数や入所希望待機者数をもとに、計画的に実行しています。引き続き着実な整備の実行と質の確保に努めていきます。
41	基本施策「介護保険施設の整備」の中で、入所希望の待機者数がわからないので計画に記載した方が良いのでは？	基本目標3（3）「介護保険施設の整備」の中で記載しています。
42	特養待機者の実態調査をした上で、改めて入所ニーズを決め、今後の特養新設計画に反映させること。	特別養護老人ホームの待機者数につきましては、毎年10月1日に待機者調査を実施し、その結果を整備計画に反映させています。
43	施設増設は計画に示されているが、老健施設は3年計画に入っていない。	老人保健施設については、2012年度に第4期分として1施設開設予定です。第5期分の増設の予定はありません。
44	介護施設の増設についてまだまだ不足している。学校の空き教室の有効利用をはかり、介護施設を増やしてほしい。	学校の空き教室の活用につきましては、さまざまな制限や条件があるため、庁内各部署、地域にお住まいの方のご意見を聞きながら活用方法を検討していきます。

No.	ご意見の概要	市の考え方
45	特養について待機者を減らしていただいているが、不安感はある。今後も特養、老人ホームを増やしていただきたい。段階を踏まえた計画をしているということで素晴らしいと思う。空き住宅も活用していただき、グループホームにも力を入れていただきたい。	基本目標3(2)「地域に密着した介護保険サービスの提供」「介護保険施設の整備」において取り組んでいきます。
46	特養待機者の必要数を調査して欲しい。在宅でカバーできるケースはないか。	特別養護老人ホーム入所待機者数につきましては、毎年10月1日に調査を実施し、同施設の必要数を介護保険事業計画に反映させております。
47	特養に地元民が入れるよう、地元希望者には付加ポイントをつけるようにし、なるべく住民優先をはかってほしい(地域で暮らすために)。	市民の優先入居については、市から施設に依頼をしております。市内の各地域で施設が選択できるような配置を目指していきます。

#### ○ 介護人材の育成・確保について (2件)

No.	ご意見の概要	市の考え方
48	町田市課題として、人材不足、育成・確保が挙げられている。介護問題を考えるためには重要だと思う。	2011年度の6月に介護人材開発センターを開設し、市内で働く介護職員の育成や相談を通じて、人材確保について取り組んでいきます。
49	人材不足をもっと盛り込むべきではないか。	

○ 保健・福祉・医療の連携について（2件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
50	今回の計画案では、高齢者福祉の施策に高齢者の医療や在宅療養が入らないと考えているように感じるので、高齢者の医療、介護、予防、生活支援、すまいを切れ目無く提供できる体制（地域包括ケア）の構築・実施を内容とする高齢者福祉計画を策定してほしい。	「地域包括ケア」の実現につきましては、第3章に記載し、その構築・実施に取り組んでいきます。
51	保健（発症等予防）、医療、介護、福祉の連携の実際的な方法について、その仕組みを分かりやすく示してほしい。	基本目標4（3）「保健・福祉・医療の連携」の中で記載しています。

○ パブリックコメントについて（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
52	「パブリックコメント」という言葉は一般的な言葉だから誰もが知っているはずとの前提で何の説明もなく書かれているのは、いかがか。意見を求めている対象には高齢者もいる。	ご指摘を参考にさせていただき、より多くの皆様からご意見をいただけるように努めていきます。

○ 市民説明会について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
53	ガイドラインの説明だけで時間が足りないのか参考にならず。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。

○ 計画全体について（8件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
54	計画案を拝見し、内容は概ね理解したが、具体的なことの把握はできなかった。	具体的な内容につきましては、「町田市高齢者福祉計画（中間答申）」に記載しています。市のホームページもしくは高齢者福祉課、介護保険課にてご覧ください。
55	当該計画（案）は実に素晴らしい内容が羅列されているが、これをいかに具現化し実行するかにかかっている。	ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます、ご期待に添えますよう、計画内容の実現に向け努めていきます。
56	まとまった計画だと思う。ただ、町田市がどこに向かわれ、どこに重点を置かれ、先駆的な取り組みをなさるか不透明だと思う（具体性なし）。	第2章「町田市が描く高齢者のための未来予想図」及び第3章「基本理念」にて記載しております。重点的な取り組みにつきましても、第4章に具体的に記載しております。
57	10年後の目指す姿では、具体的に示している項目と具体的でないような項目がある。	ご意見を参考に、計画書を修正いたします。
58	どこも機能しないような計画に感じる。市民の役に立つ所の原点に戻っていただければと思う。	
59	もっと目に見える計画を実施して欲しい。	
60	前計画の総括が無い。	第2章「町田市高齢社会総合計画（第4次改定版）の評価」に記載しております。
61	町田市の中での地域差が大きい。忠生・堺地区のニーズに即した政策も考えて欲しい。	ご意見につきましては、今後の高齢者福祉行政の参考にさせていただきます。

○ その他（13件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
62	高齢者福祉センターを個人でも参加・利用できるようにしてほしい。	高齢者福祉センター（ふれあい館）は、町田市または相模原市に居住する満60歳以上の方であれば、利用券をつくり、個人での利用が可能です。
63	ゲートボールに替わるものも考えてほしい。	ゲートボール以外の高齢者向けスポーツとしてはグラウンドゴルフ、輪投げなどを実施しています。
64	身辺整理に伴い、家具処分を行った際、家具の引き取り手数料のほかに、屋外への搬出料金も別途取られた。高齢者が自力で行うことは不可能であり、負担感が強いいため、無料化してほしい。	今後の市政に対するご意見として、参考にさせていただきます。
65	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯などには民生委員や自治会の見守りが不可欠だが、葬儀相談も積極的に展開してほしい。市民葬相談センターの設立を提案する。	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方が孤立せず、必要な支援が受けられるようにするためには、関係機関の連携が不可欠です。そのため、市では地域のネットワーク構築や総合相談・支援を高齢者支援センターを中心に進めていきます。 葬儀相談については、今後の市政に対するご提案として参考とさせていただきます。
66	入室している老人ホームの部屋を確保したまま、入院を繰り返し、費用が負担になっている。支払い能力がなければ無理をしても家庭で見なければならぬ羽目になっている現状に、高齢者の救済として一考を。	今後の高齢者福祉行政へのご意見として伺います。



No.	ご意見の概要	市の考え方
67	<p>今後増加する地域での見守り支援のため、民生委員OBの活用、見守り協力員を増やしてもらいたい。</p> <p>民生委員の担当エリアの見直し。福祉のてびき配布に関し、多い所と少ない所の差が大きい。</p> <p>民生委員欠員地域での市役所OBの活用ができないか。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の福祉行政の参考にさせていただきます。</p>
68	<p>市内に多くある公団公社、都営の団地に暮らす高齢者にとって住み慣れた地域とは団地そのものであるので、町田市と公団公社が連携して高齢化対策を考えてみてはどうか。</p>	<p>今後の市政に対するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
69	<p>親が高齢になったときどう対応したらよいか等知る機会をもうけることで、その時にあわてずに済む。高齢者や家族のみならず、学校や保育園等と協力していく仕組みができたら良い。生きて死んでいくという自然な営みを伝えていくことも取り入れてはどうか。</p>	<p>今後の市政に対するご意見として、参考にさせていただきます。</p>
70	<p>老人介護はお金がかかるといいますが、なぜ見直しをしないのか。2年前に骨折したのにもかかわらず、現在も迎えに来るからという理由で通っている人もいる。そのような状況を把握し、見直することも大切だと思う。いつまでたっても医療費が増加すると思う。</p>	<p>今後の高齢者福祉行政へのご意見として伺います。</p>
71	<p>民生委員の方の活動は必要だと思うが、35、6年住んでいるが、ほとんど会わない。昔は名誉職的な方が多かったと思うが、現在は、高齢者の実態把握や連絡など自主的に、住民に実のある活動をしていただきたい。</p>	<p>現在民生・児童委員が行っております活動については、市民の方にさらに見える形で行っていきます。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
72	市長や部長は、老人クラブに毎年メッセージを出して欲しい。	ご意見として伺います。
73	とても参考になった。最終案が決定したらじっくりと伺いたい。	計画書が完成しましたら、再度市民説明会を実施する予定です。
74	説明会の開催、ありがとうございました。今回のような目的での説明会だけではなく、高齢者福祉に関する市民との交流会（現状の説明会）をぜひ行って欲しい。	高齢者福祉に関する説明会については、適宜実施しています。

## 2. 「第5期町田市介護保険事業計画」へのご意見（19件）

### ○ 「いきいきと安心して地域で暮らすために」の基本施策について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	基本目標の「いきいきと安心して地域で暮らすために」の中の（1）、（2）、（3）の諸施策に対して具体的目標がほしい。	概要版では省略していましたが、計画書の基本目標1「いきいきと安心して地域で暮らすために」の中では、事業ごとに具体的な目標を設定しています。

### ○ 高齢者の住まいの選択肢拡大について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
2	第1段階でもユニット型特養に申し込めるようにしてほしい。	2011年4月の国の生計困難者に対する要綱改正により、生活保護受給者も居住費軽減制度の対象者となりましたので、ユニット型特養に申し込みができるようになっています。

○ 介護給付・運営の適正化について（6件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
3	介護保険料については関心がなく、聞いても知らない人が大半である。介護保険制度について楽しく学べる場が身近にほしい。	<p>介護保険制度を理解していただくことは重要であると認識しています。</p> <p>ご意見につきましては、基本目標3（3）「介護給付・運営の適正化」の中で取り組んでいきます。</p>
4	介護保険制度のPRをしてほしい。	
5	介護保険制度の周知がもっと必要ではないか。	
6	事業者に「人に人として接する」認識を持ってほしい。	<p>利用者が安心して介護サービスを利用できるよう、3（2）「介護人材の育成・確保」の中で、介護職員の質の向上に取り組んでいきます。</p>
7	夫婦で80歳を超えていて妻が要介護2、夫が非該当で子供のいない夫婦の場合、炊事・掃除・買物等について例外を設けても良いのではないか。	<p>利用者の状況を把握し、一律機械的に判断せず、適切なサービスを引き続き利用できるよう、事業所に助言等を行っています。</p>
8	介護保険のニーズに対応した給付サービスの充実化をはかってほしい。	<p>サービスごとに開催する連絡会に参加し、現場の声を聞き、また介護相談員派遣事業などを活用して利用者のニーズ等を把握し、介護保険サービスの充実を図っていきます。</p>

○ 保健・福祉・医療の連携について（1件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
9	<p>定期巡回・随時対応型訪問介護についてたずねたい。看護と介護と一緒に動いたほうが良いケースが町田市でもあったのか。</p> <p>国で決まったものは計画にもりこんでいかなければならないだろうが、各地域で実情も実態も異なると思う。</p>	<p>基本目標2（2）「地域に密着した介護保険サービスの提供」の中で取り組んでいきます。</p>

○ 介護保険制度によるサービスについて（10件）

No.	ご意見の概要	市の考え方
10	<p>要支援や要介護1、2の人たちの個人負担を2～3割に増やすなどの検討も良いのではないか。</p>	<p>介護サービス利用料の自己負担割合については、現在、国が介護保険法改正に向けて検討しているところです。</p>
11	<p>介護保険制度を維持するためには、応分の負担は仕方がない。しかし、制度をよりよいものにするためには、利用者にとって満足度の高い介護が受けられるべきである。</p>	<p>基本目標3「よりよい介護保険サービスを提供するために」の中で、サービスの質の向上、人材の確保・育成、給付・運営の適正化に引き続き取り組み、満足度の高い介護保険サービスの提供に努めます。</p>
12	<p>介護保険料について所得に応じて高所得者に対して保険料率を高くするなど保険料率の見直しはしないのか？</p>	<p>介護保険料の負担の公平が保たれるように、現状を踏まえ、見直していきます。</p>
13	<p>介護保険料について貧乏人から保険料を取って高所得者を優遇しているように思う。高所得者の料率を上げるべき。</p>	
14	<p>計画の中で介護保険準備基金積立金の23年度の残高が明記されると良いと思う。</p>	<p>ご意見につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
15	訪問介護（ホームヘルプ）の時間が60分から45分に短縮されると新聞に掲載されていたがどうなるのか。	市としても、訪問介護等に関わる介護報酬改定について、国の動向を注視していきます。
16	特別養護老人ホームのニーズも高いと思うが、約3000人が総事業費の3割を占めるということは、費用の面でみるとこれでよいのか。第5期施設サービス費は20%以上の増加ということだが、もっと在宅に力を入れるべきだと思う。	高齢者の方が、可能な限り住み慣れた自宅で自立した日常生活を送れるように、地域密着型サービスの充実や見守り支援ネットワークの拡充等を図り、在宅生活への支援に取り組んでいきます。
17	総事業費で施設サービス費の割合が30%を超えているが、もっと在宅サービスを充実させてはどうか。	しかしながら、自宅で生活を続けていくことが難しく、特別養護老人ホームへの入所を早期に希望されている方のために、一定程度の整備を継続していく必要があると考えます。
18	特養はニーズが高いのは事実であるが、全体計画の中で占める資金的ウェイトの計画はこれでよいのか。地域密着や在宅介護のウェイトをもう少し高めることが必要と思う。	
19	法改正の動向も考えあわせた計画内容は難しいのでしょうか。	介護保険法改正を勘案し、計画を作成していきます。

【お問合せ】 町田市いきいき健康部

高齢者福祉課 電話 042-724-4048 FAX 042-724-1190

介護保険課 電話 042-721-3136 FAX 042-721-0913